

Market Flash

Merry Christmas !



2020.12



日本アルプス電子 株式会社
NIHON ALPS ELECTRONICS CO., LTD.

Market Flash



今年の漢字に「密」という字が選ばれました。

今年の漢字に「密」が選ばれた。

ことしは「やはり」といった人が多かっただろう。新型コロナウイルスに翻弄された1年であった。

「密です」「密です」という小池都知事の言葉から一気に世の中に広がった。「密です」ゲームまで登場している。今年ほど、人と人の距離を意識した年はなかった。物理的な距離ばかりでなく精神的な距離も意識させられた。新大学生や新入社員が一度も同期と会うことなく半年以上人との触れ合いができなかったことは、精神的に大きなダメージとなったことであろう。人と密接にかかわることによって人は成長して、人は助けられる、その大切さを改めて感じた1年であった。

「密」の選定理由

・新型コロナウイルス感染症が日本を含め世界的に流行し、年初から現在に至るまで日々の活動が制約された一年。多くの方が「密」という漢字一字を意識し続けた。

1月に日本でも最初の感染者が発表されて以降、新型コロナウイルス感染症の流行は収まることなく年末を迎えることに。感染防止策として、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」を避けることが政府から要請され、自治体からは『NO！3「密」(密閉・密集・密接)』という言葉が発信された。多くの人が常に「密」を意識しながら行動するようになり、日常生活にも大きな影響を及ぼした。

・大切な人との関係が「密」接になり、人とのつながりの大切さを再認識する機会になったという声も。

「密」を避けるための新しい生活様式が提唱され、在宅勤務でのリモート会議、オンライン飲み会や遠方の友人・親類などと映像を通してバーチャルに会う機会が生まれた。物理的距離があるなかでも「密」に人との関わりを持つことができる、と感じた人も多かった。来年こそは対面で「密」に人と関わり合えるようにとの願いも込められた。

・政界、芸能界でも秘「密」が多かった一年。

政治では、日本学術会議の一部会員の任命拒否が内「密」に行われたことで問題に。また、芸能人の「密」会報道や薬物報道など、「ひそかに」という秘「密」の意味で使われることもあった一年。

そのほかの漢字では、「新」「変」という字もあった。コロナ禍において働き方、ビジネスの在り方、生活の仕方が新しく変わろうとしている。そうした世相を表しているのだろう。

「禍い転じて福と為す」「窮すれば通ず」来年は新たな転機の年にしたいものである。

2位「禍」 3位「病」 4位「新」 5位「変」 6位「家」

7位「減」 8位「菌」 9位「鬼」 10位「疫」

Market Flash



コロナ禍の日本経済

11月16日に発表された日本の7-9月期実質GDP成長率は前期比年率+21.4%(前期比+5.0%)となった。記録的な落ち込みとなった4-6月期の▲28.8%からの急反発である。(2次速報では+22.9%に上方修正) 4-6月期の急激な景気悪化は、4月以降のロックダウンの影響により経済活動に強い制約があったための結果であり、緊急事態宣言解除やGoToの推進、各種制限の緩和等で大幅にヒトの移動が緩和されたため急速に回復したという構図である。

7-9月期の牽引役となったのは個人消費と外需だ。緊急事態宣言解除後に営業再開や自粛緩和の動きが進んだことに加え、特別定額給付金の支給によって所得が下支えされたこともあって、個人消費は前期比+4.7%の高い伸びとなった。また、海外でのロックダウン解除により経済活動が再開されたことで、自動車を中心として輸出も大幅に増加した。輸入の急減も相まって、外需寄与度は前期比年率+12.2%Pt もの大きさになっている。

しかし、こうした高成長をもってしても、4-6月期の落ち込み分の6割以下しか取り戻せていない。新型コロナウイルス感染拡大前のピークである2019年7-9月期を▲5.8%も下回るなど、水準は低いままにとどまっており、経済活動の正常化にはまだ相当時間がかかるものと思われる。7-9月期の高成長は、あくまで緊急事態宣言によって経済活動が極度に委縮していたところからの一時的なリバウンドの面が大きいとみるべきだろう。

さらに、7-9月期の成長を牽引した外需、個人消費ともに足元で不安材料が生じている。欧州では新型コロナウイルス感染拡大ペースが急加速しており、フランス、ドイツ、イギリスなどが相次いでロックダウンの再開に追い込まれている。規制の範囲は春に比べて限定的ではあるものの、非製造業を中心に大きな打撃が及ぶことは避けられない。10-12月期のユーロ圏の成長率は再びマイナスに転じるとみられ、減少幅も大きなものになりそうだ。中国では感染が封じ込められていること、米国では感染急加速がみられる中でも行動制限の全面的な強化が現時点では回避されていること等を考えると、輸出の増加基調自体は崩れないと思われるが、一定の悪影響は受けざるを得ないだろう。

国内において、新型コロナウイルスの感染拡大が再び進んでいることも懸念される。これから冬場にかけてさらなる感染拡大が進むようであれば、家計の自粛ムードの強まりから外出の手控え・消費の抑制に繋がるとみられるほか、感染が拡大している地域において営業時間短縮やイベント自粛等の要請が広がる可能性もあるだろう。個人消費は9-10月にかけてGo Toキャンペーンや経済活動制限の緩和等によりサービス消費を中心に持ち直していたが、11月後半以降は下押し圧力再びかかりやすくなるとみられる。

GDPの数字で見る限り経済は回復基調になりつつあると見えるが、中小企業の業績は非常に厳しい環境にあることに変わりはなく、年末或いは年度末にかけてさらなる倒産が増加していくものと思われる。

Market Flash



コロナ禍の日本経済

企業倒産件数を見てみると（東京商工リサーチ）

12月1日は16時時点で、「新型コロナ」関連の経営破たん（負債1,000万円以上）が6件（倒産6件）判明し、2月からの累計が**全国で753件**（倒産689件、弁護士一任・準備中64件）となった。

月別では、103件発生した6月以来、7月は80件、8月は67件と前月を下回ってきたが9月は100件で3カ月ぶりに前月を上回り、10月は105件で単月での最多件数を更新した。11月は101件が判明し、9月以来3カ月連続で100件を上回った。企業業績が回復しないなかで、息切れを中心にコロナ破たんの高止まりが続いている。

ところが全体の倒産件数を見てみると

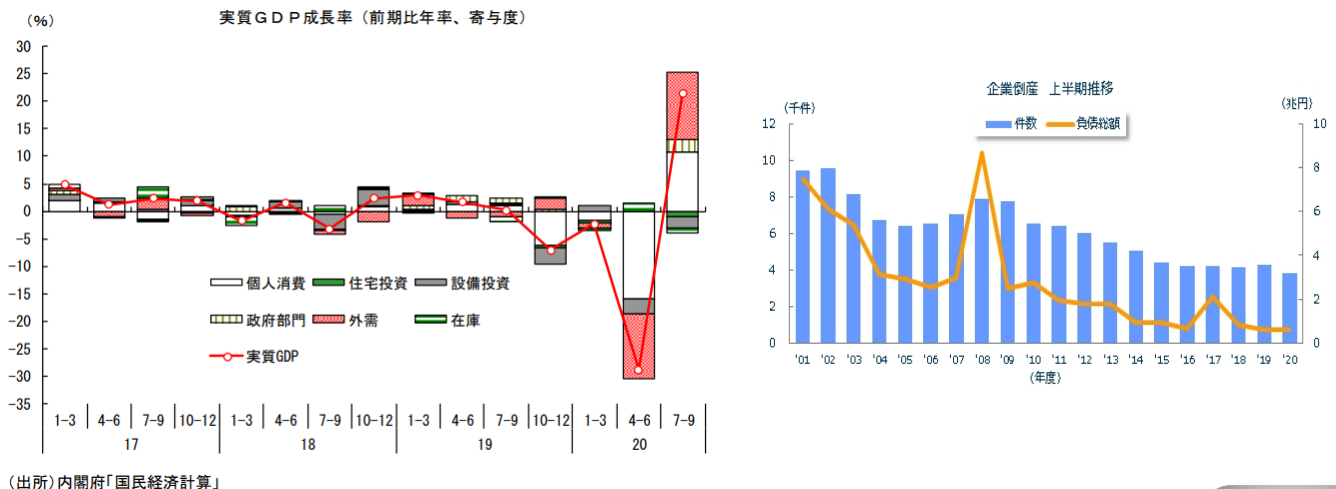
2020年度上半期（4-9月）の全国企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が3,858件（前年同期比9.3%減）、負債総額は5,991億1,900万円（同0.7%増）だった。

件数は、年度上半期の3,000件台は1990年同期（3,070件）以来、30年ぶり。1991年同期以降の30年間で最少を記録した。5月に新型コロナ感染拡大で裁判所の一部業務が縮小したほか、政府、自治体の緊急避難的な資金繰り支援が奏功、倒産は低水準で推移した。

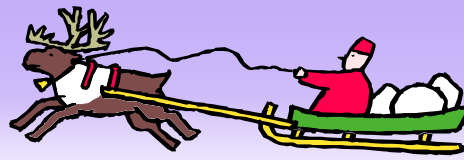
このように、コロナ禍の経済対策により、企業に対する無担保無利息融資などの資金繰り支援策により、何とか生き延びている企業が多いようである。しかし、感染者拡大などが収束せず、先々が見えない経営者にとってはまだまだ綱渡り経営が続く企業が多いのではないだろうか。

同じように、企業の設備投資についても減少傾向が続く見通しである。4-6月期▲4.5%に続いて7-9月期も▲3.4%と2四半期連続での大幅減少となった。先行き不透明が著しく、企業が設備投資を手控え、先送りに動いたとみられる。

政府は第3次経済対策を計画しているが、2021年にかけて息の長い且つ大規模な経済対策が必要になってくるであろう。



Market Flash



<2020年のヒット商品>

2020年のヒット商品はやはりコロナ禍の影響により、巣ごもり商品・サービスが並んだが、その中でも「鬼滅の刃」の大ヒットは巣籠からの解放を象徴した現象ではなかっただろうか

鬼滅の刃

興行収入は11月29日までに275億1243万円に達し、これまで2位だった米ハリウッド映画「タイタニック」(1997年公開、262億円)を上回った。

累計観客動員数も2053万人

既刊全22巻で1位~22位独占の快挙 シリーズ総売上は9,000万部を突破

オンラインツール

こちらもコロナ禍の象徴とした「Zoom」などのビデオ会議システムなどのオンラインツールだ。パソコンや液晶ディスプレイなどの売上も増加している

フードデリバリー

昨年のヒット商品に「ウーバーイーツ」が小結二番付けされていたが、今年はウーバーイーツだけでなく「出前館」の進出や個別店でのデリバリーが急拡大した

これもコロナ禍での新ビジネスである

あつまれどうぶつの森、プレイステーション5

新型コロナによる外出自粛の中、老若男女がこぞってゲーム内に“集合”。2020年3月20日の発売以来、あつ森はあらゆるゲームの記録を塗り替えて、歴代出荷本数1位の「スーパーマリオブラザーズ」(681万本)にも届きかねない勢いだ。

そのほかゲームビジネスはコロナ禍で拡大したビジネスだ。

ユニクロ「エアリズムマスク」、スキンケア、部屋着

緊急事態宣言時は日本中いや世界中でマスク不足となった。その中で日本の技術を使ったマスクが数多く製造販売されるようになった。これもコロナ禍における日本回帰の一現象だ。

MJ 2020年ヒット商品番付

東	横	西
鬼滅の刃	横綱	オンラインツール
おうち料理	大関	フードデリバリー
任天堂「あつまれどうぶつの森」	関脇	アウトドア
有料ライブ配信	小結	ソニー「プレイステーション5」
エコバッグ	前頭	D2C(ダイレクト・ツー・コンシューマー)
スキンケア	同	宅トレ
サントリー「伊右衛門」	同	ユニクロ「エアリズムマスク」
郊外店	同	移動スーパー
部屋着	同	「Go To」キャンペーン

(注) 2020年の消費動向や売れ行きなどを基に担当記者がランク付けした。前頭は抜粋





＜2021年ヒット商品予測＞日経トレンド＆日経クロストrend

例年博報堂が翌年のヒット商品の予測アンケート結果を発表しているが、今回の2021年ヒット商品予測では、第1位が「キャッシュレス決済」となった。2位・3位には「ドライブレコーダー」「エコバッグ」が同点で続いた。いずれも来年2021年以降に急ヒットするというアイテムではなく、すでに2020年に急拡大したヒットアイテムが上位を占めた。

2020年は新型コロナの影響で、自宅消費・非三密消費をベースとする「ニューノーマル」(新しい生活様式)が、大きくクローズアップされた。そのため、2020年に生まれた大きな変化が、そのまま来年に継続発展していくと捉えた消費者が多かったようだ。

一方で、日経トレンド＆日経クロストrendが発表した「2021年ヒット商品予測」では、ニューノーマルにふさわしい目新しい商品が並んでいる。

「ニューノーマルな時代のトレンドはこれまでと一味違うものになる——。無人駅×グランピング、5G×スポーツ観戦と今までにない掛け合わせがエンタメを進化させる。指輪型決済端末、ARグラス、配膳ロボット……夢だった技術が次々と日常生活に降りてくる。“予測不能”と言われた2021年の姿を描き出した。」とコメントしている。

【1位】無人駅×グランピング

「何もない」が旅行の最先端に

【2位】多視点スポーツ観戦

スタジアムの好きな場所にワープ。「360度アングル選り放題」の斬新な観戦体験が可能に。

【3位】ビヨンド副業

ダブルワーク・ダブル地方。遠隔作業と“月イチ出張”でキャリアアップにもなる地方副業。

【4位】Loop

サステナブルプロジェクト始動

大手企業が続々参加。「ぜひ使いたい」容器が企業への愛着を生む。

【5位】コオロギフード

あっと驚く次世代たんぱく質

環境に優しい新たな“食材”として、おいしい料理に早変わり。

【6位】空間丸ごと紫外線除菌ライト

【7位】EVERING「おサイフ指輪」

【8位】配膳ロボット

【9位】長野でテレワークワーケーションの“聖地”

【10位】マイクロD2C 誰でもブランド時代





Market Flash



<Googleが選んだ2020年ベストアプリ>

ここにもコロナ禍の影響が出ている。米国では特にコロナ感染者、死者共に世界で最悪の状況が続いている。そうしたストレスの多い生活がこのアプリにも反映されていたようである。最優秀アプリに選ばれたのは、睡眠アプリの「loo'na」である。

Loo'na（ルーナ）睡眠アプリ

睡眠を改善するこのアプリは、日中に溜まり、睡眠中に増幅するネガティブな感情にユーザーが対処するのをサポートする気分転換体験を約束する。不安やストレスが大きくなるにつれ、睡眠パターンやレム睡眠の調子が狂う、とLoonaは説明する。これに対処するために、Loonaは活動ベースのリラクゼーション、ストレスを除くのに役立つストーリーテリングとサウンドを組み合わせた毎晩の「sleepscapes(スリープスケープス)」を提供する。



Loonaの他に、Google Playのエディターたちは、ミステリーを解き明かしながら「探検すべき素晴らしい世界」をプレイヤーに提供しているとして無料のアクションロールプレイングゲーム「Genshin Impact」を選んだ。miHoYo初のオープンワールドゲームは基本的な魔法、キャラクター切り替え、そして新しいキャラクターや武器、他の追加物を入手するためのガチャゲーム収益化の機能を搭載している。



新型コロナウイルス(COVID-19)によるロックダウンの恩恵を受けた別のアプリとしてはDisney+がある。ユーザーのベストアプリに選ばれた。このストリーミングサービスは、外出がままならなくなった家庭が子供を楽しませるのに役立った。加えて「The Mandalorian(マンダロリアン)」といった新しいコンテンツにより大人の間でもヒットした。



- * ディズニー公式動画配信サービス Disney+: 月額700円(税抜)ですべての作品が見放題
- * 『マンダロリアン』: スター・ウォーズ実写ドラマ



今年の流行語大賞は、「3密」

今年の流行語大賞は、「**3密**」が選ばれた。
小池東京都知事の「密です」発言が火付け役となり、
今や日常生活にすっかり馴染んでしまった言葉である。
この「3密」は、日本発信のコロナ対策として、世界でも
使用されるようになった。ソーシャルディスタンスや
マスク文化も日本がコロナ対策として当初から行って
いたことである。いつかは解明される時が来るのだろう
が、こうした日本文化がコロナ対策として大きく影響を
しているのではないだろうか。
今年は、ヒット商品などとも合致する流行語となったようだ。
全て「コロナ禍」という特殊な事情が世に与えた影響である。

ユーキャン新語・流行語大賞2020	
年間大賞：3密	6位：オンライン〇〇
2位：愛の不時着	7位：GoToキャンペーン
3位：あつ森	8位：鬼滅の刃
4位：アベノマスク	9位：ソロキャンプ
5位：アマビエ	10位：フワちゃん

次にギャルの流行語大賞をご紹介します。今年も難解！

やりらふいー

ノルウェーの青年が学校のお祭りに作った楽曲のサビ部分
「Jeg vil at vi」が「やりらふいー」に聞こえることから注目され、
一斉に決まったフリを踊り出す「やりらふいー」現象が起こる
ほどブームに。また、楽しくて仕方ない時やテンションが上が
った様を表す際にも使用されるなど、「パリピ」に変わる言葉
としても人気を集めた。。

ギャル流行語大賞2020			
1位	やりらふいー		
2位	〇〇しか勝たん		
3位	きゅんです		
4位	ぱおん		
5位	〇〇もろて	6位	尊い
7位	インライ	8位	密です！
9位	親フラ	10位	ギョブる

〇〇しか勝たん

好きな推しをよりアピールする際に使用する言葉で、「〇〇が最高」「〇〇に勝るものはない」という意味

きゅんです

「胸がきゅんとときめいた」ことの略(これはわかりやすい！)

ぱおん (ぴえんこえてぱおん)

「ぴえん」が進化して、より感極まって今にも泣きそうな状況を表す。ちなみに2019年に第2位だった「ぴえん」
は、11月30日に発表された、2020年を代表する言葉(日本語)で、今後の辞書に掲載されてもおかしくないも
のを発表する『三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2020」』の大賞に選ばれた。

〇〇もろて：「〇〇してもらって」という意味

尊いは「応援しているアイドルや好きなキャラクターに対して、強いあこがれを抱く時に使用されはじめ、「か
わいい」「かっこいい」に代わる言葉としてInstagramやTwitterで多用されている。(こうして日本語の意味が変
わっていくのか！?)



Market Flash



2020年コロナ

1月6日	中華人民共和国湖北省武漢で原因不明の肺炎 厚生省が注意喚起
1月14日	WHO新型コロナウイルスを確認
1月16日	日本国内で始めて感染確認 武漢に渡航した中国籍の男性
1月28日	武漢からチャーター機で帰国
1月30日	WHO「国際的な緊急事態」を宣言
1月31日	中国湖北省に滞在していた外国人の入国を拒否すると表明。
2月3日	乗客の感染が確認されたクルーズ船 横浜港に入港
2月13日	国内で初めて感染者死亡 神奈川県在住の80台女性
2月26日	首相、今後2週間のイベント中止要請 新型コロナ拡大で
2月28日	全国の小中高、3月2日から臨時休校要請 首相
3月2日	首相「緊急事態宣言含め法整備」 新型コロナ拡大で
3月6日	習近平氏の来日延期、政府が発表
3月6日	(3月9日実施)中韓から入国、2週間待機 ビザの効力停止 首相表明
3月9日	専門家会議の提言として「3密」を避ける
3月25日	東京オリンピック1年延期決定
3月27日	都内で40人感染確認 知事、緊急事態宣言「ぎりぎり」
3月30日	志村けんさん死去
4月7日	7都府県に緊急事態宣言発令 「可能な限り外出自粛を」 5月6日まで
4月16日	緊急事態宣言を全国に拡大
4月16日	全国民に一律10万円配布 世帯30万円支援を撤回
5月4日	政府「緊急事態宣言」5月31日まで延長
5月14日	緊急事態宣言39県で解除 8都道府県は継続
5月21日	緊急事態宣言 関西は解除 首都圏と北海道は継続
5月25日	緊急事態宣言 約1か月半ぶりに全国で解除
6月2日	初の「東京アラート」都民に警戒呼びかけ
6月8日	世界の感染者 1日で最多の13万6000人
6月19日	都道府県また区移動の自粛要請 全国で緩和
6月28日	世界の感染者 1000万人超える
6月29日	世界の死者50万人超える
7月2日	東京都 107人の感染確認 100人超は2か月ぶり
7月3日	国内の1日の感染者 2か月ぶりに200人超える
7月9日	東京都 224人の感染確認 200人超は約3か月ぶり
7月10日	国内の1日の感染者 400人超える 4月24日以来
7月13日	WHO「多くの国が誤った方向に」事態悪化を警告
7月18日	世界の死者 60万人超える



Market Flash



2020年コロナ

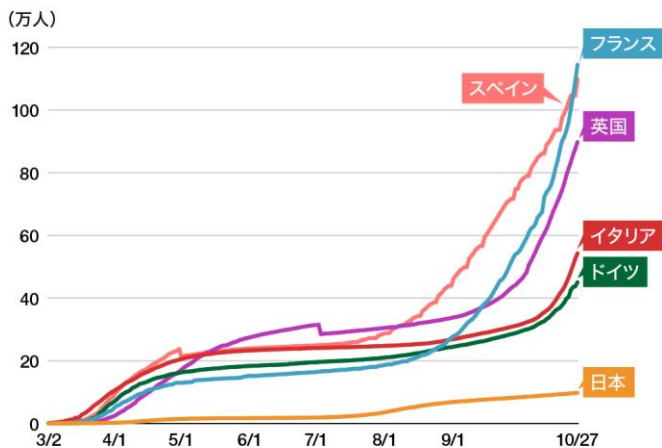
- 7月22日** 「Go Toトラベル」キャンペーン始まる。国内の1日の感染者 795人 過去最多
- 7月23日** 東京都 366人感染確認 過去最多
- 7月27日** WHO「パンデミックは加速し続けている」
- 7月28日** 国内の死者 1,000人超える(クルーズ船除く)
- 7月29日** 国内の1日の感染者 1,000人超 岩手で初確認
- 8月10日** アメリカの感染者数が500万人を超える
- 8月11日** 世界の感染者2000万人を超える
- 8月15日** ヨーロッパで感染再拡大を受けた措置相次ぐ
- 8月17日** 4-6月期GDP 年率-27.8%
- 8月20日** 対策分科会 尾身会長「流行はピークに達したとみられる」
- 8月28日** 政府が新型コロナ対策の新たな方針発表
- 9月5日** WHO「新型コロナのワクチン 分配開始は来年中頃の見通し」。“慎重に安全性を確認すべき”という考え示す。
- 9月9日** 世界の製薬会社など9社が新型コロナワクチン開発で“安全最優先”を宣言
- 10月2日** トランプ大統領が新型コロナウイルスに感染
- 10月12日** ヨーロッパで感染急拡大
- 10月14日** フランスが3か月ぶりに非常事態を宣言 ヨーロッパで感染再拡大
- 11月5日** 1週間にクラスターが100件超 前週の1.6倍 9月以降最多
- 11月7日** 北海道 警戒ステージ「3」に ススキノで営業時間短縮など要請
- 11月10日** 政府分科会が緊急提言「急速な感染拡大の可能性も」
ファイザーがワクチン「90%超の予防効果」と暫定結果発表
- 11月16日** GDP(7-9月) 年率換算で前期比+21.4%
- 11月18日** 国内感染者数が過去最多の2201人に。東京も過去最多の493人で感染状況を最高レベルに引き上げへ
日本医師会の中川会長「Go Toトラベル」と感染「間違いなく十分に関与」
- 11月19日** 国内感染者数 2388人、東京都 534人でともに2日連続で過去最多を更新。
- 11月20日** ファイザーが米当局に新型ワクチン緊急使用許可を申請
政府分科会「Go Toキャンペーン」見直しなど政府に求める提言
- 11月24日** 大阪府 コロナ重症者最多に 27日から飲食店の営業時間短縮要請
米厚生長官 コロナワクチン 来月10日以降供給開始の見通し示す
- 11月27日** 分科会尾身会長「個人努力だけに頼るステージ過ぎた」
- 11月30日** 「モデルナ」も米当局に新型コロナワクチンの緊急使用許可申請
- 12月1日** 大阪の市立病院 看護師不足でがん治療など一部の病棟閉鎖 コロナ感染拡大で
- 12月2日** イギリス政府がファイザー開発の新型コロナワクチン承認と発表
- 12月3日** 大阪府が「医療非常事態宣言」重症患者の急増で 不要不急の外出自粛も要請
- 12月15日** GoToトラベル全国一時停止へ 地域限定の対応から方針転換 政府
- 12月17日** 都の医療提供体制 最も高い警戒レベルに 初の引き上げ



Market Flash

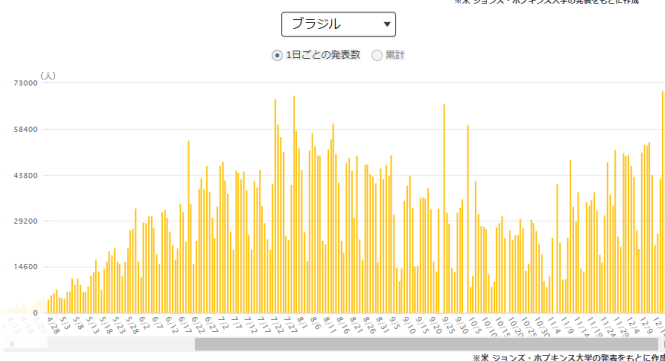
世界のコロナ状況

欧州に強烈な第2波

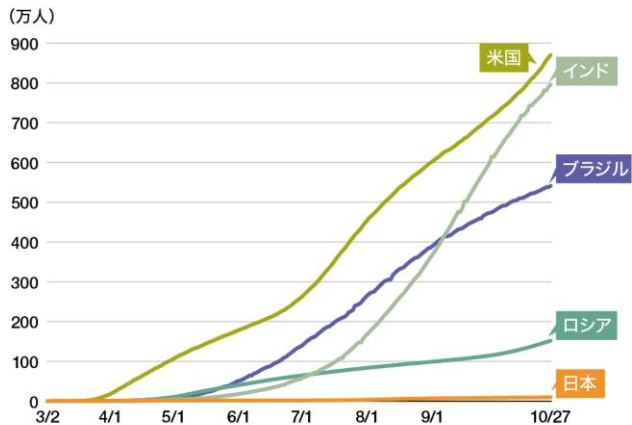


厚生労働省の公表資料を基に作成、WHOや各国の公表値とは異なる場合がある。

nippon.com

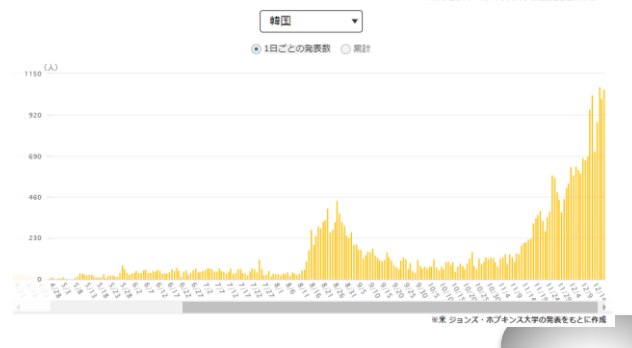
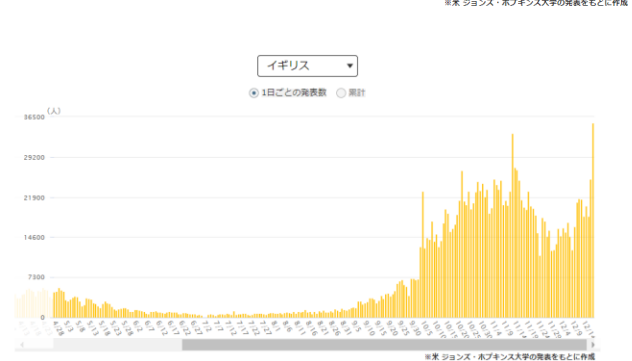
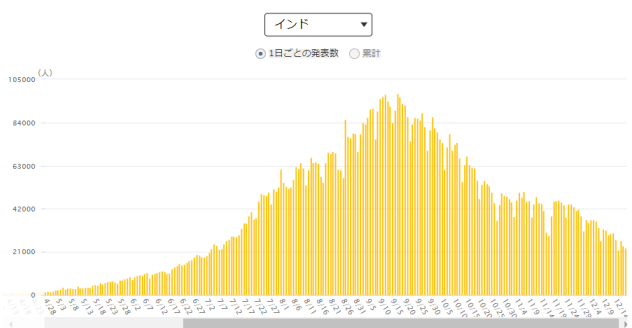


米・印の感染拡大続く



厚生労働省の公表資料を基に作成、WHOや各国の公表値とは異なる場合がある。

nippon.com



本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保障するものではありません。



Market Flash

日本のコロナ状況



2020年12月17日 23時55分更新

データ提供：JX通信社/FASTALERT

国内の発生状況

現在感染者数**27,703**

(前日比 +659)

新規感染者数**3,210**

(前日比 +218)

累計感染者数**190,979****死亡者数****2,792**

(前日比 +38)

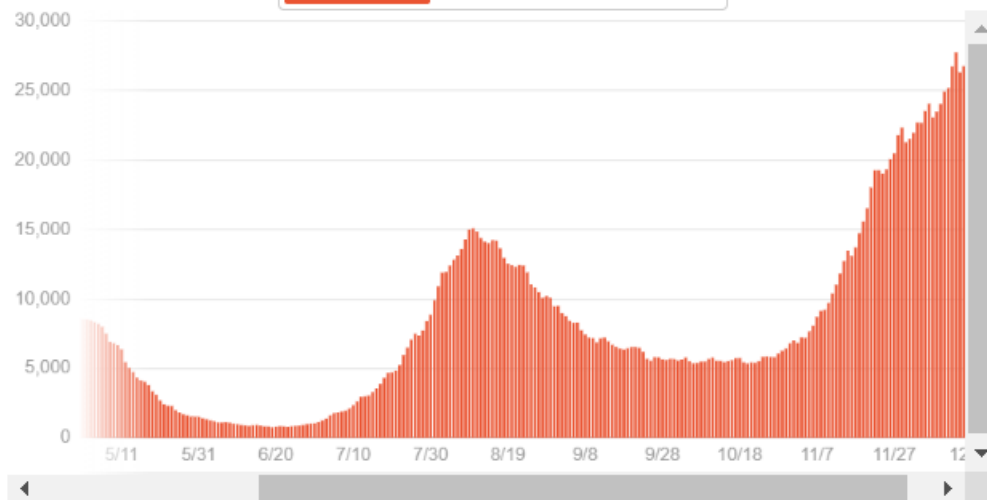
退院者数**160,484**

(前日比 +2,513)

現在

新規

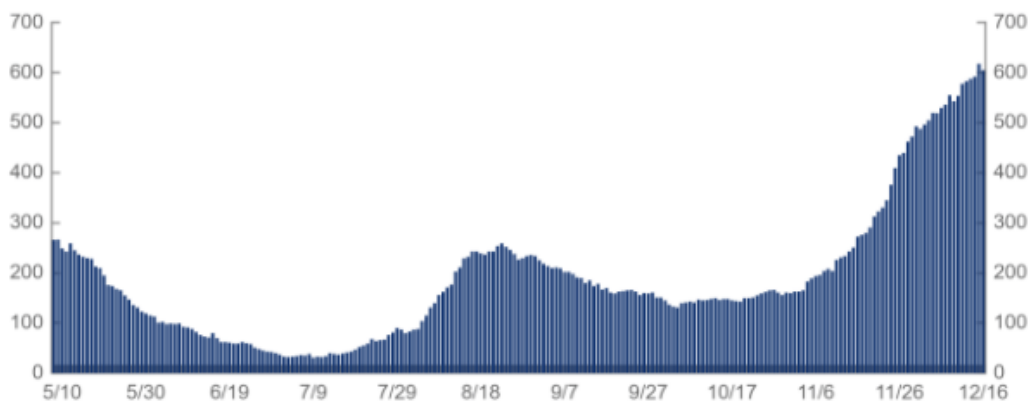
累計



※現在感染者数は累計感染者数から退院者数と死亡者数を減じた数値です ※横浜港に到着したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」を除きます

<出典> 厚生労働省発表

国内の重症者数の推移



Market Flash



この1年、このレポートを読んで頂き誠にありがとうございました。

締めくくりとして、恒例の今年的话题をまとめてみました。

今年はほんとに明るい話が少なかった1年。とにかくコロナとの闘いに早く勝たなければならないと強く感じました。

来年は、このページにアフターコロナの明るいニュースが書ききれないほどに掲載できることを祈るばかりです。

【スポーツ】

- ・東京マラソン 大迫が日本新記録
- ・高校野球の春夏中止
- ・東京五輪・パラリンピックが延期に
- ・甲子園高校野球交流試合
- ・大阪なおみ全米オープン優勝

【政治】

- ・安部首相辞任 菅内閣発足
- ・立憲民主党誕生
- ・大阪都構想否決

【経済】

- ・GDP年率27.8%減、戦後最大の下落
- ・東証システム障害で売買終日停止

【災害】

- ・九州豪雨 死者77人
- ・台風10号 九州で豪雨被害

【社会】

- ・「高輪ゲートウェイ駅」開業
- ・あおり運転罪創設
- ・スパコン「富岳」世界一に
- ・レジ袋有料化スタート
- ・藤井聡太七段が最年少タイトル

【海外】

- ・英国がEU離脱
- ・NY株、過去最大2997ドル安
- ・米国で警官に拘束された黒人が死亡、抗議デモが世界に
- ・トランプ大統領WHO脱退表明
- ・北朝鮮、南北共同連絡事務所ビル爆破
- ・米中、双方の領事館閉鎖
- ・英、5Gでファーウェイを排除
- ・イスラエル、UAE国交正常化
- ・香港、国家安全維持法が可決
- ・米大統領選 バイデン氏が当選

【訃報】

- ・野村克也 ・志村けん ・渡哲也
- ・三浦春馬 ・竹内結子

本年も大変お世話になり誠にありがとうございました。
来年も引き続きお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

来年も皆様にとって健康で明るい年になりますよう心より
お祈り申し上げます。

